



JBL CINEMA SB190



取扱説明書

重要な安全上の注意

使用前に電源電圧を確認する

JBL CINEMA BAR 190（サウンドバーおよびサブウーファー）は100～240ボルト、50/60HzのAC電流で使用できるように設計されています。本製品が対応していない電源電圧に接続すると、安全上の問題および火災の危険があり、本機に損傷を与える可能性があります。特定のモデルの電圧の必要性、またはお住まいの地域の電源電圧についてご質問がありましたら、壁のコンセントに本機をつなぐ前に販売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

延長コードは使用しないこと

危険を回避するため、本機に付属した電源コード以外は使用しないでください。本製品に延長コードを使用することはお勧めできません。全ての電気器具と同様、電源コードをじゅうたんまたはカーペットの下に通したり、上に重いものを置かないでください。破損した電源コードが同梱されていた場合は、認定サービスセンターがただちに工場の仕様に適合したものにお取替えます。

AC電源コードは丁寧に扱う

ACコンセントから電源コードを外す時は、常にプラグを持つようにしてください。絶対にコードを引っ張らないでください。長期間このスピーカーを使用するつもりがない場合、ACコンセントからプラグを外してください。

本体を分解しない

本製品内にはお客様が修理できる箇所はありません。本体を開けると感電する可能性があり、製品に何らかの改造を行うと、お持ちの保証書が無効になります。水が誤って本機内に入った場合、ただちにAC電源から本体を取り外し、認定サービスセンターにご相談ください。

目次

重要な安全上の注意	2	7 サウンドの設定	13
		7.1 DOLBY ATMOS® (バーチャル)	13
1 はじめに	4	7.2 プリセットEQ設定	13
		7.3 ボイスモード	14
2 同梱品	4	7.4 バスブースト	14
3 製品の概要	5	8 工場出荷時設定への復元	15
3.1 操作とインジケータ	5		
3.2 接続端子	5	9 ソフトウェアのアップデート	15
3.3 サブウーファー	5		
3.4 リモコン	6	10 サブウーファーの再接続	16
4 設置	7	11 製品仕様	16
4.1 台の上への設置	7		
4.2 壁への取り付け	7	12 トラブルシューティング	17
5 接続する	8	13 商標	18
5.1 TVおよびデジタルデバイスとの接続	8		
5.2 BLUETOOTH接続	10		
6 再生する	11		
6.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ	11		
6.2 TVソースからの再生	11		
6.3 HDMI INソースからの再生	12		
6.4 BLUETOOTHソースからの再生	12		

1 はじめに

JBL CINEMA BAR 190 (サウンドバーおよびサブウーファー) をお買い上げいただき、ありがとうございます。本製品は、ずば抜けたサウンドを生み出すように設計された、ホームエンターテインメントシステムです。少々お時間を割いて、この取扱説明書に目を通されることをお勧めします。この取扱説明書では製品に関する説明と使用開始するまでの各手順をひとつひとつ説明しています。

製品の機能とサポートをフル活用するには、USB経由コネクタで製品のソフトウェアをアップデートする必要があります。この取扱説明書のソフトウェアアップデートセクションを参照して製品のソフトウェアが最新バージョンになっていることをお確かめください。

設計と仕様は予告なしに変更されることがあります。サウンドバーと設置または操作について何かご質問がありましたら、販売店またはカスタマーサービスにご連絡いただくか、または当社のウェブサイト、www.jbl.comをご覧ください。

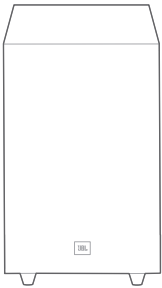
2 同梱品

注意して箱を開封し、以下の物が同梱されていることをお確かめください。いずれかが破損している、または見当たらない場合は、小売店またはカスタマーサービスにご連絡ください。

本体



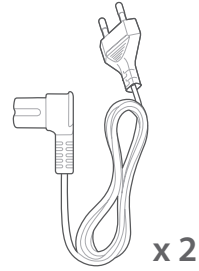
サブウーファー



リモコン (単4乾電池2本付属)



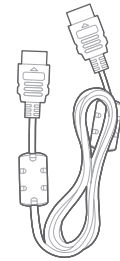
電源コード*



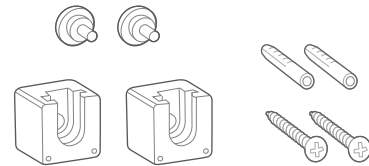
x 2

*電源コードの本数とプラグタイプは地域によって異なります。

HDMIケーブル



壁取り付け用キット

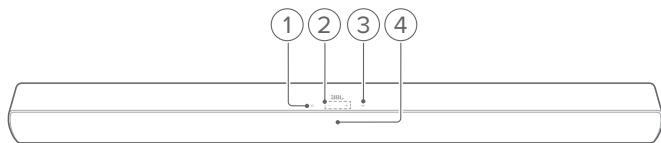


製品情報&壁取り付け用型紙



3 製品の概要

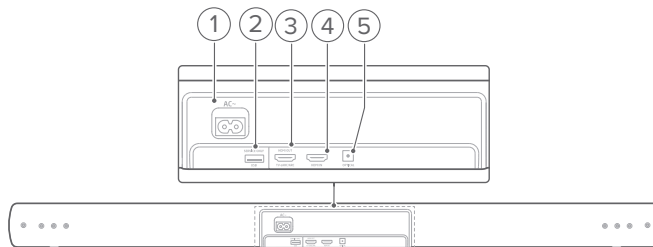
3.1 操作とインジケータ



1. **⏻ (電源)**
 - 電源をオンまたはスタンバイ状態にする
2. **-/+ (音量)**
 - 音量の増減
 - 押し続けると音量が増減していきます。
 - 2つのボタンを同時に押してミュートまたはミュート状態を解除します
3. **⊗ (ソース)**
 - 入力音源を選択してください:**HDMI ARC** (デフォルト、端子を通して**HDMI OUT (TV ARC / TV eARC)** TVに接続)、**HDMI IN** (端子を通して **HDMI IN** デジタルデバイスに接続)、**光デジタル端子** (端子を通して**OPTICAL TV/デジタルデバイスに接続**) または**Bluetooth**
4. **ステータスインジケータ**

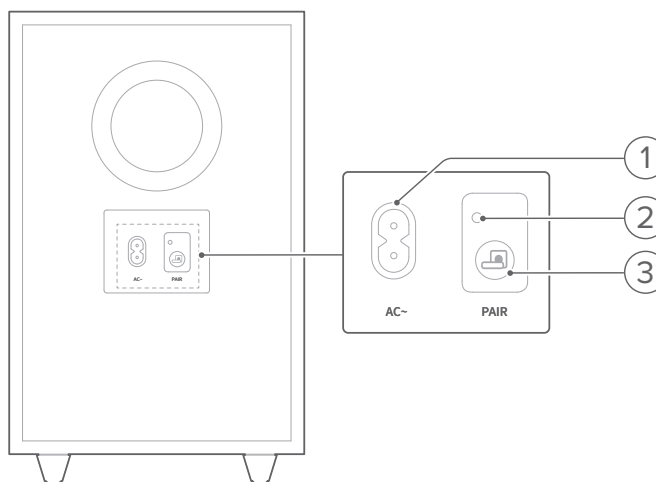
● 赤色で点灯	スタンバイモードに入る
○ 白色で点灯	HDMI ARCソースを選択済み
● 黄色で点灯	HDMI INソースを選択済み
● アンバー色で点灯	光デジタル端子ソースを選択済み
● 青色で点灯	Bluetoothに接続済み
☀ 青色で素早く点滅	Bluetoothペアリングモードに入る
● 緑色で点灯	ドルビーアトモスオーディオを再生する
∖ 点滅 (現在のサウンドソース)	音量の変更中
∖ ゆっくりと点滅 (現在のサウンドソース)	最高/最低音量に達した
∖ 続けてゆっくりと点滅 (現在のサウンドソース)	ミュート中

3.2 接続端子



1. **AC~**
 - 電源への接続
2. **USB**
 - ソフトウェアアップデート用USB端子
 - オーディオ再生用のUSBストレージデバイスに接続 (米国バージョンのみ)
3. **HDMI OUT (TV ARC/ TV eARC)**
 - TVのHDMI ARC/HDMI eARC入力に接続します
4. **HDMI IN**
 - デジタルデバイスのHDMI出力に接続します
5. **OPTICAL**
 - TVまたはデジタルデバイスの光デジタル出力と接続します

3.3 サブウーファー

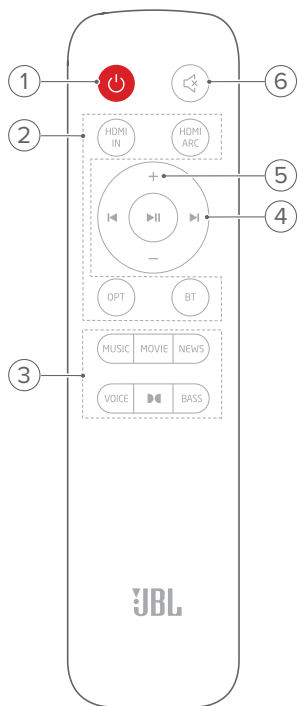


1. **AC~**
 - 電源への接続
2. **接続状態のインジケータ**

● アンバー色で点灯	サウンドバーに接続済み
☀ アンバー色で素早く点滅	ペアリングモード
● アンバー色でゆっくり点滅	スタンバイモード

3. **🔌**
 - 長押しすると、サウンドバーとサブウーファーを再接続することができます

3.4 リモコン



1. 電源

- 電源をオンまたはスタンバイ状態にする

2. 入力切替

HDMI IN

- HDMI INソースを選択します

HDMI ARC

- HDMI ARCソースを選択します

OPT

- 光デジタル端子ソースを選択します

BT

- Bluetoothソースを選択します
- 長押しすると、別のBluetooth対応デバイスと接続することができます

3. サウンドエフェクトボタン

NEWS / MUSIC / MOVIE

- ニュース/ミュージック/ムービー用にプリセットされたEQ(イコライザー)設定を選択します

VOICE

- ボイスモードを選択してボーカルや声の明瞭度を上げます

■

- バーチャルドルビーアトモス (virtual Dolby Atmos®) サウンドエフェクトをオンまたはオフにします(デフォルト:オン)

BASS

- バスブーストをオンまたはオフにします(デフォルト:オン)

4. 再生ボタン

◀▶

- Bluetoothソース:1つ前か、次のトラックにスキップします

▶||

- Bluetoothソース:再生または一時停止

5. +/-

- 音量を増減します
- 押し続けると、音量が増減していきます。

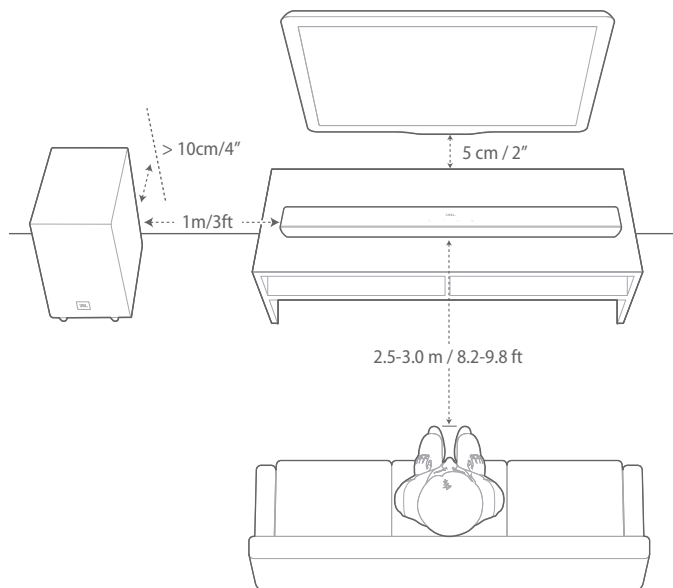
6. 静音(ミュート)

- ミュート/ミュート解除

4 設置

4.1 台の上への設置

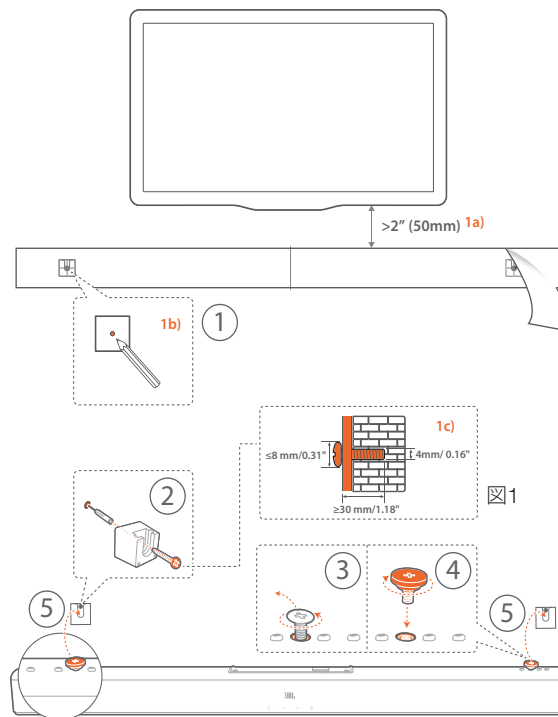
水平で安定した台の上にサウンドバーとサブウーファーを設置してください。サブウーファーがサウンドバーから最低1m、壁から10cm離れていることをご確認ください。



注:

- 電源コードを正しく電源に接続してください。
- サウンドバー、またはサブウーファーの上には何も置かないでください。
- サブウーファーとサウンドバー間の距離が6m以内であることをご確認ください。

4.2 壁への取り付け



1. 準備:

- TVから最低50mm離して、粘着テープで付属の壁取り付け用型版を貼り付けてください。
- ボールペンでねじ穴の位置に印を付けてください。その後、型紙を取り外してください。
- 印を付けた壁に4mmの穴を開けてください。ねじのサイズについては図1をご覧ください。

2. 壁取り付け用金具を取り付けます。

- 図に示されているように、ドライバーを使って固定されているねじを取り外します。

4. 付属の取り付けキットに同梱されている壁取り付けねじで固定します。

5. サウンドバーを壁に取り付けます。

注:

- 事前に壁がサウンドバーの重量に耐えられることを確認してください。
- 垂直の壁以外には取り付けしないでください。
- 高温、または高湿度状態で設置しないでください。
- 壁に取り付ける前に、サウンドバーと外部デバイス間のケーブルが全て正しく接続されていることをご確認ください。
- 壁への取り付け前に、サウンドバーの電源が入っていないことをご確認ください。電源が入っていると、感電の原因となることがあります。

5 接続する

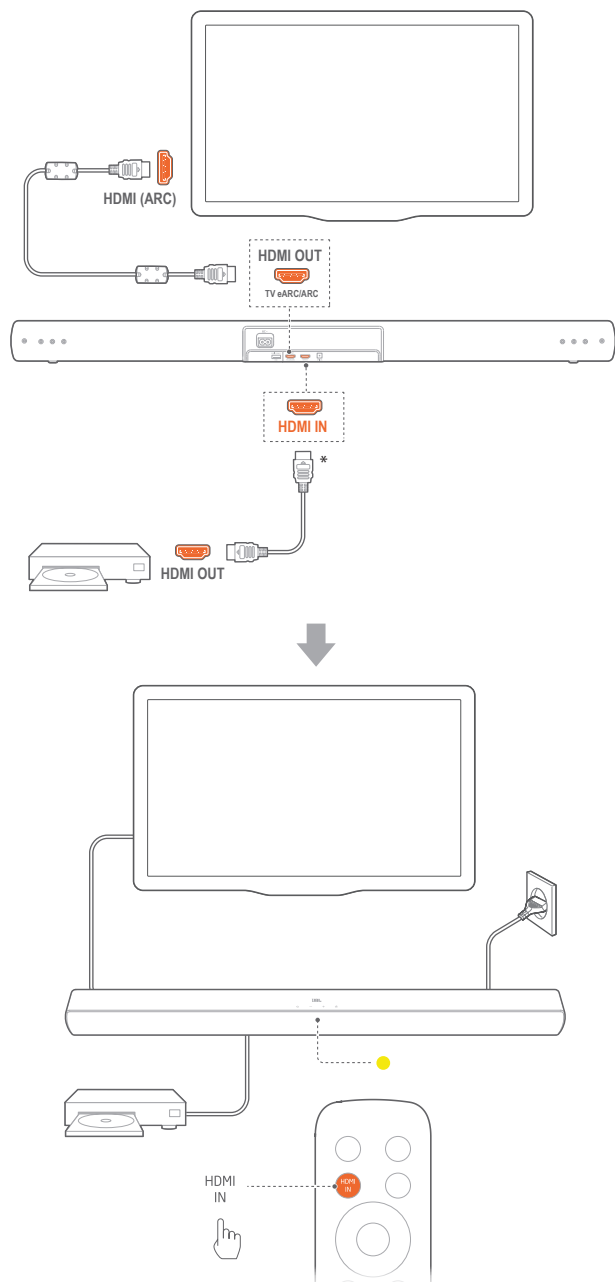
5.1 TVおよびデジタルデバイスとの接続

サウンドバーでオーディオ再生を行うには、付属のHDMIケーブル、または光デジタル端子ケーブル(別売)を使って、サウンドバーをTVに接続してください。

HDMI接続は、ケーブル1本の接続によりオーディオとビデオ両方を出力できます。このサウンドバーの接続にはHDMIを推奨します。

TV (HDMI ARC)

(ドルビーアトモスを最大限に満喫するための推奨接続)



1. 付属のHDMIケーブルを使って、TVのHDMI IN (ARC)端子とサウンドバーを接続してください。
 - TVがHDMI-CECとHDMI ARCに対応しているかどうかを確認してください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。
2. HDMIケーブル (V2.0以降) を使用して、DVD/Blu-rayプレーヤーまたはレコーダー、ゲーム機などのデジタルデバイスやセットトップボックスとサウンドバーを接続してください。
 - 各デジタルデバイスがHDMI-CECに対応していることを確認してください。詳細については各デジタルデバイスの取扱説明書をご参照ください。
 - デジタルデバイスで、ドルビーアトモスを最大限に満喫するためオーディオ出力設定の「ビットストリーム」または「元データ」を選択してください。
3. サウンドバーに接続されたデジタルデバイスからオーディオを再生するにはリモコンの**HDMI IN**を選択してください。

注:

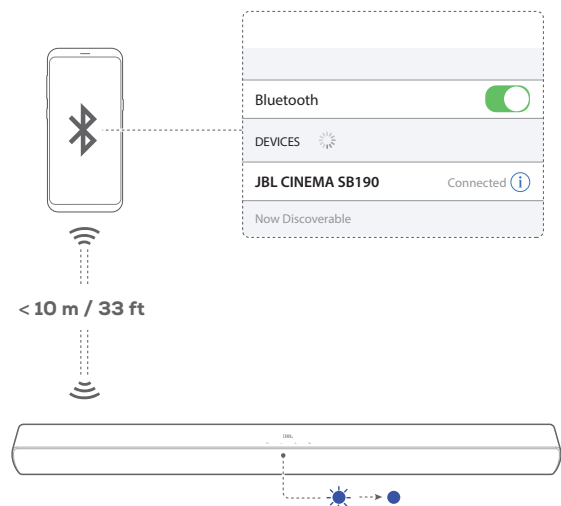
- TVがHDMI eARCに対応していない場合、TVの代わりにサウンドバーのHDMI IN端子を通してデジタルデバイスに接続していることをご確認ください。そうでない場合は、ドルビーアトモスの情報をHDMI (ARC/eARC) 端子を通してサウンドバーに音声信号を送ることができません。

注:

- *HDMIケーブル(デジタルデバイス接続用)および光デジタル端子ケーブルは別売です。
- HDMI-CECデバイスへの完全対応は保証できません。

5.2 Bluetooth接続

Bluetoothで、スマートホン、タブレット、ノートパソコンといったBluetooth対応デバイスにサウンドバーを接続してください。



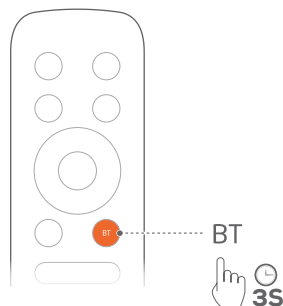
Bluetooth対応デバイスへの接続

1. **⏻** を押して電源を入れてください(「6 再生する」の章の「6.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ」をお読みください)。
2. Bluetoothソースを選択するには、サウンドバーの **Ⓞ**、またはリモコンの **Ⓢ** ボタンを押してください。
→ ペアリングの準備:ステータスインジケータが青色で点滅します。
3. Bluetooth対応デバイスの方では、Bluetoothが有効になり、3分以内に「JBL CINEMA SB190」の検索を開始します。
→ 接続済み:ステータスインジケータが青色で点灯します。確認音が鳴ります。

最後にペアリングしたデバイスを再接続するには

本機はスタンバイモード時も接続したBluetooth対応デバイスを記憶しています。次の機会にBluetoothソースに切り換えた際、サウンドバーが自動的に最後に接続したデバイスとの再接続を行います。

別のBluetooth対応デバイスに接続するには



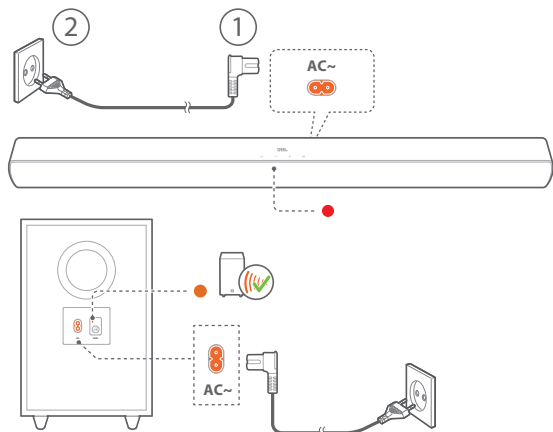
1. Bluetoothソースでステータスインジケータが青色で点滅するまで、サウンドバーの **Ⓞ**、またはリモコンの **Ⓢ** ボタンを長押しします。
→ サウンドバーがBluetoothペアリングモードに入ります。ステータスインジケータが青色で点滅します。
2. 「Bluetooth対応デバイスへの接続」のステップ3に従ってください。
 - デバイスがサウンドバーとペアリングされていた場合は、まずデバイスの「JBL CINEMA SB190」のペアリングを解除してください。

注:

- Bluetooth接続は、サウンドバーとBluetooth対応デバイスの距離が10mを超えている場合、接続が切れてしまいます。
- 電子機器があると、電波が干渉を受けることがあります。電子レンジ、ワイヤレスLANデバイスなどの電磁波を出す機器はサウンドバーのメインユニットに近づけないでください。

6 再生する

6.1 電源オン/オートスタンバイ/オートウェイクアップ



電源オン

1. 付属の電源コードで、サウンドバーとサブウーファーを電源に接続してください。
2. 電源ボタンを押して電源を入れます。
 - サブウーファーがサウンドバーに自動的に接続されます。接続済み: 接続ステータスインジケータがアンバー色で点灯 (●) に変わります。

注:

- 付属の電源コード以外は使用しないでください。
- サウンドバーの電源を入れる前に、他の接続(「5 接続する」の章の「5.1 TVおよびデジタルデバイスとの接続」をお読みください)が全て完了していることをご確認ください。

オートスタンバイ

サウンドバーが10分以上作動しない場合、自動的にスタンバイモードに切り替わります。サブウーファーもスタンバイモードに入り、接続ステータスインジケータがアンバー色でゆっくり点滅 (●) に変わります。

次の使用時にサウンドバーの電源を入れると、最後に選択されたソースに戻ります。

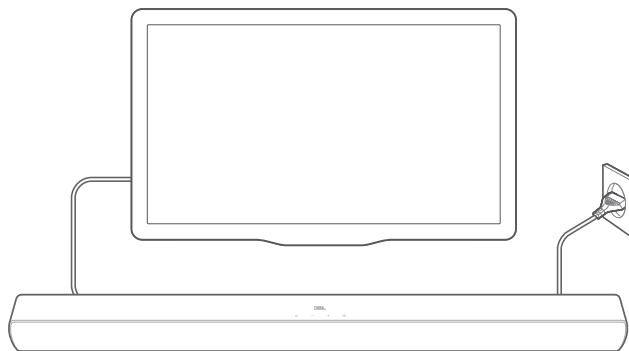
オートウェイクアップ

サウンドバーは下記の場合に自動的にスタンバイモードから復帰します

- サウンドバーがHDMI ARCでTVと接続されている場合は、TVの電源が入った時、
- サウンドバーは光デジタル端子ケーブルによってTVに接続され、光デジタル端子ケーブルからのオーディオ信号を検知します。

6.2 TVソースからの再生

TVの音声を接続したサウンドバーのスピーカーで楽しむことができます。



1. TVが外部スピーカーに対応するように設定されていて、TV内蔵スピーカーが無効になっていることをご確認ください。詳細についてはTVの取扱説明書をご参照ください。
2. サウンドバーがTVに正しく接続されていることをご確認ください(「5 接続する」の章の「5.1 TVおよびデジタルデバイスとの接続」をお読みください)。
3. TVソースを選択するには、サウンドバーの **G** ボタン、またはリモコンの **HDMI ARC/OPT** ボタンを押してください。
 - **HDMI ARC** ソースから再生すると、ステータスインジケータが白色で点灯 (○) に変わります。
 - **Optical** ソースから再生すると、ステータスインジケータがアンバー色で点灯 (●) に変わります。

6.2.1 TVリモコンの操作設定

TVとサウンドバーの両方をTVリモコンで操作するには、TVがHDMI-CECに対応していることを確認してください。TVがHDMI-CECに対応していない場合は、「TVリモコンラーニング」の手順に従ってください。

HDMI-CEC

TVがHDMI-CECに対応している場合は、TVの取扱説明書に記載されている機能を使用できます。TVリモコンを通してサウンドバーの音量の+/-、サウンド、ソース、および電源オン/スタンバイ機能を操作することができます。

TVリモコンラーニング

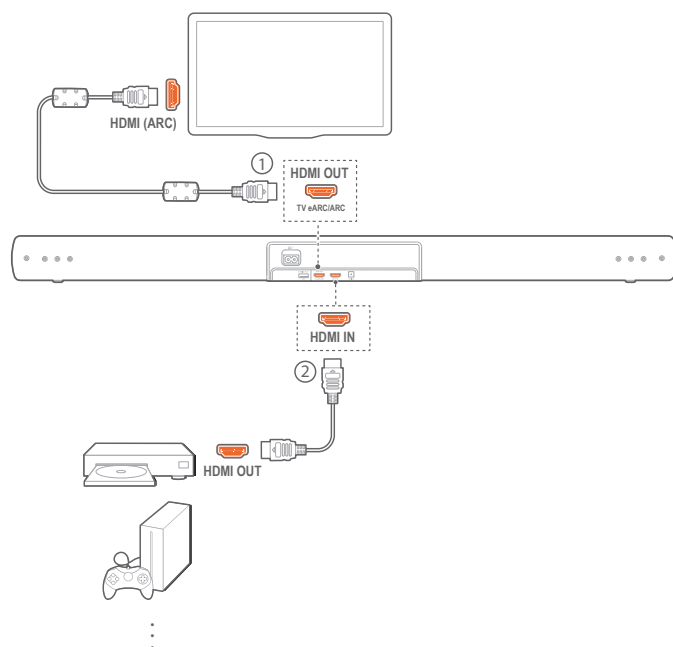
赤外線コマンド学習機能を使って、赤外線信号を使用しているTVのリモコンのいくつかの操作をサウンドバーに学習・対応させることができます。

1. サウンドバーをスタンバイモードに切り替えたことを確認してください。
2. サウンドバーで、ステータスインジケータがアンバー色で点滅するまで **電源** と **+** ボタンを長押ししてください。
 - TVのリモコンコマンド学習モードに入ります。

3. 数秒以内に、サウンドバーとTVリモコンで以下の操作を行ってください：
 - a) サウンドバー：以下のボタンのいずれか1つを長押ししてください：+、-、**G**および \odot 。ステータスインジケータが赤色で三回点滅するまで。
 - b) TVリモコン：お好きなボタンを二度押ししてください。
→ サウンドバーでステータスインジケータがアンバー色で点滅した場合、TVリモコンのボタンがサウンドバーボタンの機能を学習しています。
4. 全てのボタンを記憶させるには、手順3を繰り返してください。
5. TVリモコンラーニングモードを終了するには、ステータスインジケータがアンバー色で三回点滅するまで、サウンドバーの \odot と+ボタンを長押ししてください。

6.3 HDMI INソースからの再生

下図のようにサウンドバーを接続すると、デジタルデバイスの信号をそれぞれTVから映像を再生しサウンドバーから音声を再生することができます。



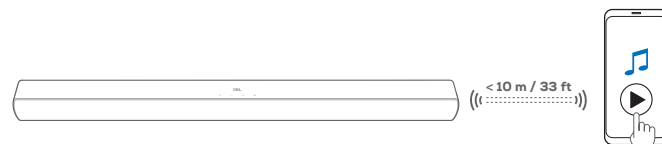
1. サウンドバーがTVとデジタルデバイスに正しく接続されていることをご確認ください（「5 接続する」の章の「5.1 TVおよびデジタルデバイスとの接続」をお読みください）。
2. デジタルデバイスの電源を入れてください。
→ TVとサウンドバーがスタンバイモードから復帰し、自動的に入力ソースを切り替えます。
 - サウンドバーで**HDMI IN**ソースを選択するには、サウンドバーの**G**、またはリモコンの**HDMI IN**ボタンを押してください。
 → **HDMI IN**ソースから再生すると、ステータスインジケータが黄色で点灯（●）に変わります。
3. TVがスタンバイモードに切り替わります。
→ サウンドバーとソースデバイスがスタンバイモードに切り替わります。

注：

- HDMI-CECデバイスへの完全対応は保証できません。

6.4 Bluetoothソースからの再生

Bluetoothを使って、Bluetooth対応デバイスからサウンドバーにオーディオをストリーミングします。

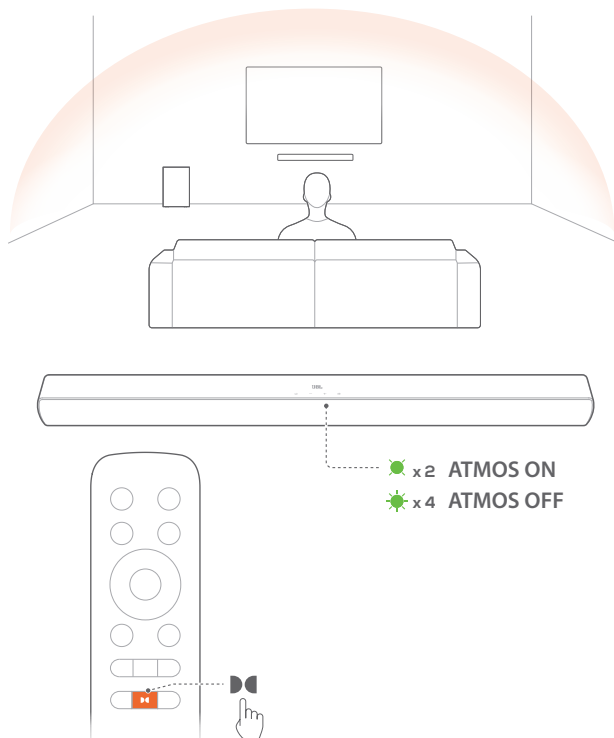


1. サウンドバーがBluetooth対応デバイスに正しく接続されていることを確認してください（「5 接続する」の章の「5.2 Bluetooth接続」をお読みください）。
2. Bluetoothソースを選択するには、サウンドバーの**G**、またはリモコンの \mathbb{B} ボタンを押してください。
3. Bluetooth対応デバイスで音楽再生を開始します。
4. サウンドバーまたはBluetooth対応デバイスの音量を調節します。

7 サウンドの設定

7.1 Dolby Atmos® (バーチャル)

HDMI IN/HDMI ARCソースで映画を再生する場合は、バーチャルドルビーアトモスを搭載した高さ方向の包まれるようなサウンドエフェクトをお楽しみください。



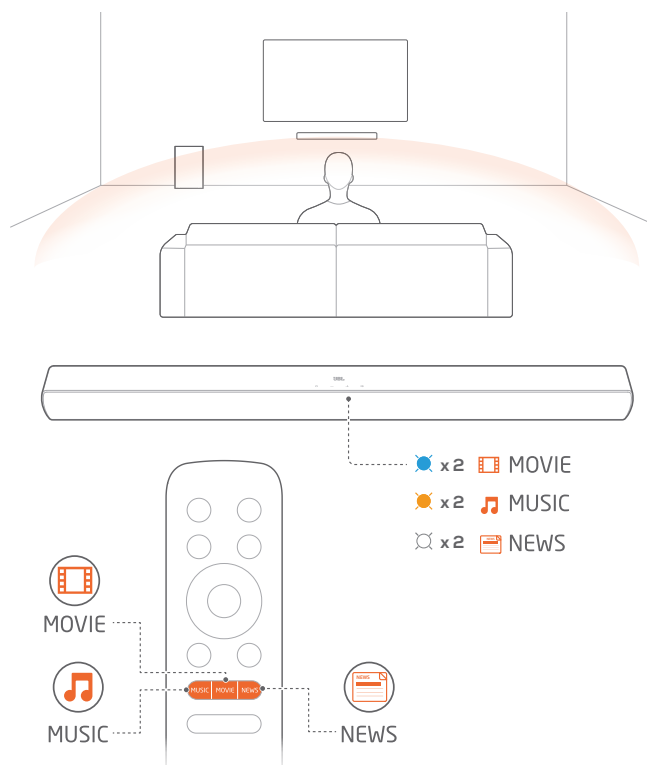
- HDMI ARC/HDMI eARC端子およびHDMI端子を通してBlu-rayプレーヤーまたはストリーミングデバイスを接続・再生してください。(「5 接続する」の章の「5.1 TVおよびデジタルデバイスとの接続」をお読みください)。
 - サウンドバーでドルビーアトモスオーディオコンテンツを再生している場合は、ステータスインジケータが緑色で点灯します(●)。
- リモコンの **●** ボタンを押して、高さ方向の包まれるようなサウンドエフェクトをオンまたはオフにしてください(デフォルト:オン)。
 - サウンドバーでドルビーアトモスサウンドエフェクトが有効になっている場合は、ステータスインジケータが緑色でゆっくり二回点滅(●)します。
 - サウンドバーでドルビーアトモスサウンドエフェクトが無効になっている場合は、ステータスインジケータが緑色で素早く四回点滅(★)します。

注:

- 映画鑑賞または音楽鑑賞中に高さ方向の包まれるようなサウンドエフェクトを無効にしたい場合は、ATMOSエフェクトをオフにしてください

7.2 プリセットEQ設定

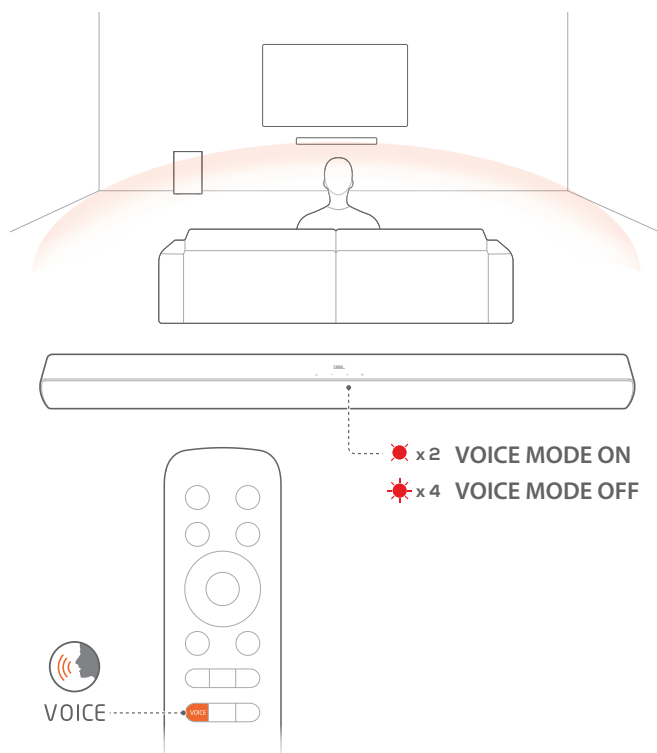
再生する音声にあわせて時にリモコンで、プリセットEQ(イコライザー)設定を選択してください。



- MOVIE:**ムービー用サウンドモード
 - サウンドバーでムービーモードが有効になっている場合は、ステータスインジケータが青色でゆっくり二回点滅(●)します。
- MUSIC:**ミュージック用サウンドモード
 - サウンドバーでミュージックモードが有効になっている場合は、ステータスインジケータがアンバー色でゆっくり二回点滅(●)します。
- NEWS:**ニュースや天気予報といったTV番組用サウンドモード
 - サウンドバーでニュースモードが有効になっている場合は、ステータスインジケータが白色でゆっくり二回点滅(○)します。

7.3 ボイスモード

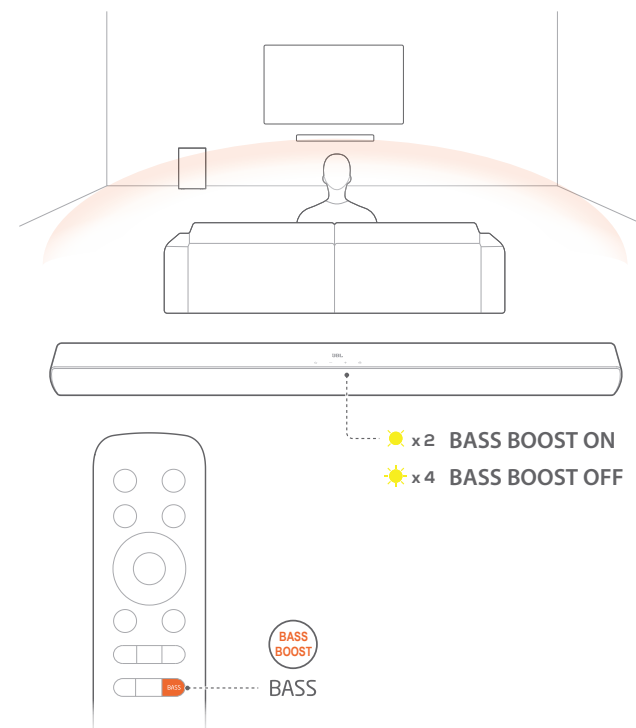
ボイスモードにすると、ボーカルの明瞭度が上がり、音声を聴いて理解しやすくなります。



- リモコンで**VOICE**を押してボイスモードのオンとオフを切り替えてください。
 - サウンドバーでボイスモードが有効になっている場合は、ステータスインジケータが赤色でゆっくり二回点滅(●)します。
 - サウンドバーでボイスモードが無効になっている場合は、ステータスインジケータが赤色で素早く四回点滅(★)します。

7.4 バスブースト

バスブーストのオンとオフを切り替えると、低音のサウンドエフェクトを増減させることができます。



- リモコンで**BASS**を押してバスブーストのオンとオフを切り替えてください(デフォルト:オン)。
 - サウンドバーでバスブーストが有効になっている場合は、ステータスインジケータが黄色でゆっくり二回点滅(●)します。
 - サウンドバーでバスブーストが無効になっている場合は、ステータスインジケータが赤色で素早く四回点滅(★)します。

8 工場出荷時設定への復元

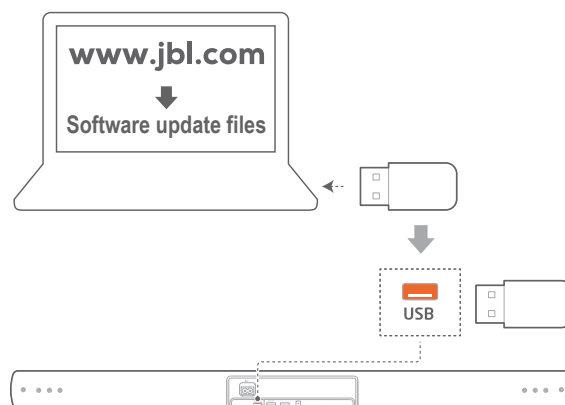
工場出荷時のデフォルト設定に復元することにより、サウンドバーの個人的な設定は全て削除されます。

- サウンドバーで、**⏻** と **⏻** ボタンを10秒以上長押ししてください。

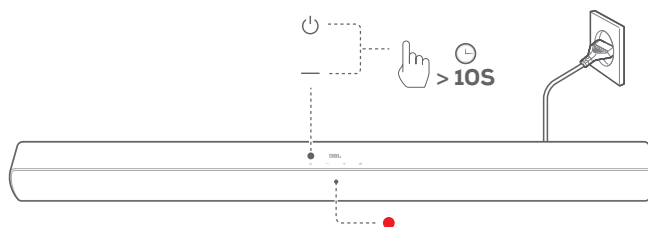
9 ソフトウェアのアップデート

最適なパフォーマンスと最善の体験のため、今後サウンドバーのソフトウェアアップデートを提供する可能性があります。アップデートファイルのダウンロードに関する詳細については、www.jbl.comにアクセスするか、またはJBLコールセンターにご連絡ください。

- USBストレージデバイスのルートディレクトリにソフトウェアアップデートファイルを保存したことを確認してください。サウンドバーにUSBデバイスを接続してください。
 - USBストレージデバイスが以下の条件に適合していることをご確認ください：
 - 最大容量：64GB
 - ファイルシステム：FAT32



- ソフトウェアアップデートモードに入るには、
 - サウンドバーをスタンバイモードに切り替えたことを確認してください。
 - サウンドバーの**⏻**-ボタンを10秒以上長押ししてください。
 - **○●●●**:ソフトウェアのアップデートを開始
 - **○●**:ソフトウェアのアップデートが進行中
 - **☒●●●**:ソフトウェアアップデートが完了
 - サウンドバーがスタンバイモードに戻ります。

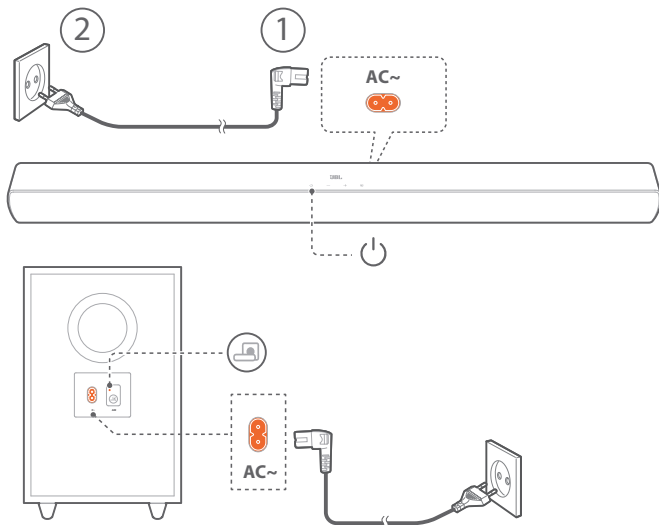


注:



- サウンドバーの電源はオンのままにし、ソフトウェアアップデートが完了する前にUSBストレージデバイスを取り外さないでください。
- ソフトウェアのアップデートファイルを紛失した、または破損した場合、**○●●●**または**○●●●**と表示され、次にサウンドバーがスタンバイモードになります。

10 サブウーファーの再接続

サウンドバーとサブウーファーは、工場出荷時にはペアリングされています。電源を入れると、自動的にペアリングされて接続されます。再度ペアリングしなければならない場合もあります。



サブウーファーのペアリングモードに再接続するには

1. サブウーファーで、接続ステータスインジケータがアンバー色で素早く点滅(●)に変わるまで  を長押ししてください。
2. サウンドバーで  ボタンを押して電源を入れてください。
→ サブウーファーがサウンドバーに自動的に接続されます。
接続済み: 接続ステータスインジケータがアンバー色で点灯(●)に変わります。

注:

- 再度ワイヤレス接続に失敗した場合は、設置場所の周囲に障害または強い干渉(例、電子機器からの干渉)がないかを確認します。これらの障害または強い干渉を取り除き、上の手順を繰り返します。

11 製品仕様

一般仕様:

- 電源: 100~240 V AC、50/60 Hz
- 総合出力(最大@THD 1%): 380 W
- サウンドバー部出力(最大@THD 1%): 90 W x 2
- サブウーファー部出力(最大@THD 1%): 200 W
- スピーカー構成(サウンドバー部): 48 x 90 mm楕円形ウーファー x 2 + 32mmツイーター x 2
- スピーカー構成(サブウーファー部): 165mmウーファー
- ネットワーク接続した状態でのスタンバイ時消費電力: 0.5 W未満
- 動作保証温度: 0°C~45°C

HDMIの仕様:

- HDMI入力: 1
- HDMI出力(eARC対応): 1
- HDMI HDCPバージョン: 2.3

オーディオ仕様:

- 周波数特性: 40 Hz~20 kHz
- 最大音圧レベル: 96 dB
- オーディオ入力: 光デジタルx1、Bluetooth、USB(米国バージョンではUSBからの再生が可能です。その他のバージョンでは、USBはサービス用途です)

USB仕様(オーディオ再生は米国バージョン用のみです):

- USBポート: Type A
- USB定格: 5V DC、0.5A

ワイヤレス仕様:

- Bluetoothバージョン: 5.1
- Bluetoothプロファイル: A2DP V1.3、AVRCP V1.5
- Bluetooth周波数帯域: 2400 MHz~2483.5 MHz
- Bluetooth最大送信電力: 0 dBm未満(EIRP)
- Bluetooth変調: GFSK、 $\pi/4$ DQPSK
- 2.4Gワイヤレス周波数帯域: 2400 MHz~2483 MHz
- 2.4G最大送信電力: 3 dBm
- 2.4Gワイヤレス変調: GFSK

寸法:

- 寸法(幅x高さx奥行): 900 x 62 x 67 mm(サウンドバー)、200 x 409 x 280 mm(サブウーファー)
- 重量: 約1.9 kg(サウンドバー)、約5.6 kg(サブウーファー)
- 外装寸法(幅x高さx奥行): 990 x 230 x 400 mm
- 外装重量(総重量): 約9.7 kg

12 トラブルシューティング

絶対に、ご自身で本製品を修理しようとししないでください。この製品を使用していて問題がある場合は、点検を要求する前に以下の点を確認してください。

システム

本機の電源が入らない。

- 電源コードが電源とサウンドバーに差し込まれているかどうか確認してください。

ボタンを押してもサウンドバーが反応しない。

- サウンドバーを工場出荷時設定に復元します(「8 工場出荷時設定への復元」の章をお読みください)。

サウンド

サウンドバーから音が出ない

- サウンドバーがミュート状態でないことをご確認ください。
- リモコンで正しいオーディオ入力ソースを選択してください。
- サウンドバーをTVまたは他のデバイスに正しく接続してください。
- サウンドバーを工場出荷時設定に復元するには、サウンドバーの⓪とGボタンを10秒以上長押ししてください。

音が歪んでいる、エコーのように聞こえる

- TVの音声をサウンドバーで再生している場合は、TVがミュート状態になっていてTVのスピーカーから音声が出力されていないかをご確認ください。

ドルビーアトモスの高さ方向の包まれるようなサウンドエフェクトにならない

- TVがHDMI ARCのみに対応している場合、サウンドバーのHDMI IN端子を通してサウンドバーにデジタルデバイスが接続されていることをご確認ください(「5 接続する」の章の「5.1 TVおよびデジタルデバイスとの接続」で「TV (HDMI ARC)」をお読みください)
- TV/HDMIソースから映画を再生している場合は、ドルビーアトモスのサウンドエフェクトをお楽しみください。ドルビーアトモスは、Bluetoothによるオーディオストリーミングには対応していません。

Bluetooth

サウンドバーにデバイスを接続できない。

- デバイスのBluetoothが有効になっているかどうか確認してください。
- サウンドバーが別のBluetooth対応デバイスとペアリングされていた場合は、Bluetoothをリセットしてください(「5.2 Bluetooth接続」の「別のBluetooth対応デバイスに接続するには」をお読みください)。
- Bluetooth対応デバイスがサウンドバーとペアリングされていた場合、サウンドバーのBluetoothをリセットして、サウンドバーとBluetooth対応デバイスのペアリングを解除し、再度Bluetooth対応デバイスとサウンドバーをペアリングしてください(「5.2 Bluetooth接続」の「別のBluetooth対応デバイスに接続するには」をお読みください)。

接続したBluetooth対応デバイスからのオーディオ品質が良くない。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソースデバイスをサウンドバーに近づけるか、ソースデバイスとサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。

Bluetooth対応デバイスとの接続が、切れたりつなげたりする。

- Bluetoothの受信状態が悪い可能性があります。ソースデバイスをサウンドバーに近づけるか、ソースデバイスとサウンドバーの間に何も置かないようにしてください。
- 一部のBluetooth対応デバイスでは、電力を節約するため、自動的にBluetooth接続を停止させることがあります。この場合、サウンドバーは故障していません。

リモコン

リモコンが使えない。

- 電池の寿命が切れていないかどうかを確認してください。電池が寿命の場合は、新しい電池に取り替えてください。
- リモコンとサウンドバーとの距離を縮めたり、角度を変えたりしてみてください。

TVのリモコンのラーニングに失敗した。

- TVのリモコンが赤外線方式のものかどうか確認してください。赤外線コマンド学習機能はBluetooth方式のリモコンには対応していません。

13 商標



The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by HARMAN International Industries, Incorporated is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.



The terms HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, and the HDMI Logo are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing Administrator, Inc.



Dolby, Dolby Atmos, and the double-D symbol are registered trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation. Manufactured under license from Dolby Laboratories. Confidential unpublished works. Copyright © 2012-2020 Dolby Laboratories. All rights reserved.



HARMAN International Industries,
Incorporated 8500 Balboa Boulevard,
Northridge, CA 91329 USA
www.jbl.com

© 2023 HARMAN International Industries, Incorporated.
無断複写・転載を禁じます。

JBLは、ハーマンインターナショナルインダストリーズ (HARMAN International Industries, Incorporated) の、米国および/またはその他の国々の商標です。特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。